

海外事例から考える エリア価値創造と官民連携の未来



2025年
12月9日(水)
17時～18時半

ロンドンのStrand Aldwych
(BIDによる調査提案を契機に公共空間が再
編整備された事例)
写真提供：山口敬太

場 所

大阪府立中之島図書館(別館) 多目的スペース3
(裏面ご覧ください)

定 員

70名 申込締切 11/21 (金)

講
演

WS2「立体的に都市をリ・デザインする」座長 講演
「海外事例から考えるエリア価値創造と
官民連携の未来」 60分

京都大学大学院地球環境学堂 准教授 山口 敬太 氏



近年、都市づくりは「人中心」への大転換期を迎えています。人々の営みを受け止め、都市の活力を生み出す“器”として、公共空間と「みどり」の価値が飛躍的に高まり、都市空間の再編が加速しています。特に海外では、気候危機や健康志向を背景に、交通や公共施設を含むインフラの機能・空間を大胆に組み替え、官民連携のもとでエリア価値の創造を都市政策と投資の中核に据える動きが顕在化しています。本トークセッションでは、海外の先進事例を俯瞰し、エリアベースの都市再生の戦略・手法と事業スキームを整理して紹介するとともに、参加者のみなさまとこれからの「エリア価値」の創出・持続について議論を深めます。

意
見
交
換

意見交換 & 質疑応答 30分

講師とご参加の皆様で議論予定です